

# はじめての 万葉集

日本に現存する  
最古の和歌集「万葉集」を  
わかりやすくご紹介します

vol.  
136

## 寧楽山の手向

この歌は、長屋王が「寧楽山」に馬をとめて作ったという題詞を持つ歌です。

寧楽山とは、現在の奈良市北部の平城山丘陵を指すと考えられます。大和国と山城国との国境であり、古代の旅においては、そうした場所で土地の神に布・紙・玉などの供え物を捧げて、旅の無事を祈る風習がありました。「手向け」は、現代日本では死者の冥福を祈るといふ宗教的なことばとしての印象が強いかも知れませんが、この歌のように神へ物を供えることもありました。

そうして長屋王が峠の神に祈ったのは、自らの旅の無事だけでなく、逢いたいと願う家に残してきた妻の無事でもあったかもしれません。

## 佐保過ぎて 寧楽の手向に 置く幣は 妹を目離れず 相見しめとそ

長屋王(巻三・三〇〇番歌)

作者である長屋王は、高市皇子と御名部皇女の子であり、天智・天武両天皇の孫にあたる人物です。平城京内の長屋王邸は、それにふさわしい一等地(現在の奈良市二条大路南)にあったことが、発掘調査によって確認されています。

神亀元(七二四)年に左大臣となりましたが、神亀六(七二九)年に謀反の罪に問われ、自害したことで知られます。

『続日本紀』の記述によれば、密告に基づく断罪であったということですが、実態は藤原氏の謀略であったと考えられています。また、聖武天皇にとっても、文武天皇と藤原宮子の間生まれ即位したばかりの自身に比べて、両親ともに皇族であり政治的な実績もある長屋王が脅威であったという指摘もあります。

『万葉集』には他に四首の歌が載り、現存する最古の日本漢詩集『懷風藻』

訳 佐保を通りすぎ奈良山の峠に手向けとして置く幣は、

妻にいつも逢えるようにしてくださいと祈ったことだ。

には長屋王邸で新羅からの使者をもてなす詩宴が開かれたことがうかがえます。長屋王自身も三首の五言詩を残しています。

(本文 万葉文化館 井上さやか)



### 万葉文化館 イベント情報

◆特別展 天翔る飛鳥 烏頭尾精の世界

開催中〜9月15日(祝)  
明日香村出身の画家で、満93歳になる烏頭尾精さん。本展では、16年の歳月をかけて奈良や京都の古都の風景を描いた「古都シリーズ」を一挙に公開します。



烏頭尾精(あすか・夏) 2022年 個人蔵

◆国内の小・中学生、高校生、18歳未満の人は無料。その他割引など、詳しくは当館HPをご覧ください。

◆第8回奈良県立万葉文化館主宰 共同研究成果報告

第23回万葉古代学公開シンポジウム

続・神と仏がやどる場所

―山と水に寄せる古代信仰―

8月30日(土)13時〜17時(開場12時30分)

〔講師〕橋本裕行さん(明治大学)他

〔参加費〕500円(資料代含む)

〔定員〕150人(申込不要)

◆万葉集をよむ 無料

8月20日(水)14時〜15時30分

〔秋の雑歌(5)〕

(巻80・1557〜1573番歌)

〔講師〕中本和(当館主任研究員)

〔定員〕150人(先着申込不要)

※オンライン視聴は要申込(定員なし)

◆にぎわいフェスタ万葉夏

開催中〜8月30日(土)

巨大めいるに挑戦! 無料申込不要

7月26日(土)〜8月6日(水)

10時30分〜12時・

13時30分〜15時(随時受付)

※小学生以下対象。

詳しくは当館HPをご覧ください。



奈良県立 万葉文化館  
☎0744-54-1850  
🌐www.manyo.jp